

第1回 安心つながり部会 ワークシート

1 めざすべき将来像

経営課題2 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

健康づくり・防災・防犯に様々な対策がとられ、区民の意識が高く、みんなが健康で安心して暮らせるまちにする。

【具体的取組】

- | | |
|------------------------|---|
| ➤ <u>健康づくり</u> | 地域健康講座、特定健康診査、各種がん検診の実施ほか |
| ➤ <u>福祉相談ネットワークの強化</u> | 地域福祉サポート事業、住居環境健全化支援事業、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 |
| ➤ <u>防災力の強化</u> | 防災力向上事業 |
| ➤ <u>防犯力の強化</u> | 防犯・交通安全対策事業 |

経営課題3 みんながつながるまちづくり

区民相互が交流と助けあいを行い、地域の自主的なまちづくり活動が活発に行われているみんながつながるまちにする。

【具体的取組】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| ➤ <u>区民相互の交流活動への支援</u> | 生涯学習推進事業、学校体育施設開放事業 |
| ➤ <u>区民相互の助け合い活動への支援</u> | 高齢者食事サービス事業（ふれあい型） |
| ➤ <u>地域の自主的なまちづくり活動への支援</u> | 新たな地域コミュニティ支援事業 |

2 取組の現状

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、社会全体で活動が制限される中、区役所で実施する各種検診等の受診控えや、地域事業をはじめ各種事業、防災訓練等が中止を余儀なくされた。
- 地域での交流の促進や困りごとを抱える人を適切なケアにつなげるため、継続的な支援と取組の推進が必要。（区民相互の交流・助け合いのための機会拡大、引きこもりの解消、フレイル予防、支援を要する方への支援）
- 一方、地域内で「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」を実感している区民の割合はわずかながら増加し、地域でのつながりを実感している区民が増えつつある傾向がみられる。
- 地域の課題を解決し、地域で生活される区民相互のつながりを強めながら地域活動

協議会の自主的な活動が活発に行われるよう、人材の育成、発掘をはじめ事業実施のための支援を継続することが必要。

気になるキーワードは

「つながり」 「見守り」 「共助」

3 今後、懸念されること

今後の懸念①

- 日常生活での“困りごと”を助け合える「つながり」があれば安心。でも、地域活動に参加したいと思わない人も多い。
- つながりや支援をあえて拒否する人も増えてきた。

今後の懸念②

- 支援を要する方の見守り
- 新型コロナの感染を避けるため、直に顔を合わせる機会もめっきり減った。
最近なかなか見かけなくなった人達の様子がとても気にかかる。

今後の懸念③

- 自助・共助・公助と言われても・・・共助の中心となる町会加入率が低下している。
- 共助の取組みを進める、活動の担い手を増やすにはどうしたら良いだろう？

上記のような懸念を解消するため、既に行われている有効な取り組みやヒントについて、様々な角度からご意見をお願いします。

メモ